

2月14日 岸田首相
総裁選不出馬
表明



安蔵 つうしん

No.26 「鈴木安蔵を讃える会」ニュース
発行：2024(令和6)年8月20日(火)
〒979-2533 福島県相馬市坪田字八幡前21
「鈴木安蔵を讃える会」会長 志賀勝明
TEL: 0246-22-1111 FAX: 0246-22-1112

映画「日本の青空」DVDが寄贈されました

2007年製作の『日本の青空』は鈴木安蔵の半生を描いた劇映画ですが、5月に小高区出身の製作関係者からDVDが本会に寄贈されました。

2006年の製作や撮影の際「小高・はらまち九条の会」が全面的に協力し、安蔵の母校の相馬高校生もエキストラとして出演しています。



先輩の偉業を後輩が演じる

小高区(旧・小高町)出身で、日本国憲法草案に影畫を与えた憲法学者、故鈴木安蔵の半生を描いた映画「日本の青空」の撮影が昨年11月、鈴木氏の母校・相馬高校で行われました。同校3年1組の生徒、約30人がエキストラで出演、先輩の偉業を想いながら演じました。

小高区の先生役を演じた加藤憲二(朗くん)は、「長ゼリフを演じ切った後、スタッフからの拍手に感激しました」。



▲映画「日本の青空」ロケ風景

映画「日本の青空」に 相馬高3年生が出演

撮影場所は3年1組の教室。女性記者の恋人が高校時代、明治初期の私擬憲法「五日市憲法」を紹介した劇に農民役で出演、その回想シーンを収録しました。

「映画製作の大変さを実感しました。大きなスクリーンに映る自分たちの姿に今からワクワクしています」

